

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

「岩手の幸福に関する指標」研究会（第6回）

2 開催した日時

平成29年6月23日（金）10:00～12:00

3 開催場所

岩手県立大学アイーナキャンパス 7階 学習室1

4 出席委員

委員5名中4名、アドバイザー1名中0名

5 研究会協議事項等

協議事項

（1）主観的幸福感等に関する県民意識調査の分析結果について

（2）第5回研究会で示された主な御意見について

○政策推進室から、資料1及び参考1、参考2、参考3に基づき、主観的幸福感等に関する県民意識調査の分析結果、第5回研究会で示された主な御意見への対応、指標の体系案について一括して説明。

< 県民意識調査の分析結果関係 >

■委員からの主な意見等は次のとおり

（意見）

主観的幸福感、協調的幸福感、ソーシャルキャピタルのいずれも、30代～50代の数値が低くなっている。この要因について、さらに分析を進めてほしい。

（意見）

全体像として、生活満足度と幸福感が違っているということがわかり、生活満足度よりも幸福感のほうが高いということもわかってきた。具体的に、年齢・職業・世帯構成といった属性と幸福感については、違いのあるなしを整理できてきているが、属性と生活満足度についてもどういった関係にあるのか分析してほしい。

（意見）

29年の県民意識調査では、20代の主観的幸福感が5%程の低下と、大きく下がっている。他の年齢層の主観的幸福感にはほとんど変化がないにも関わらず、なぜ、20代のみが低下したのか、その要因を分析した方が良い。

(回答)

対応する。集計にあたり、クロス集計をかけて分析をするが、サンプル数が少なくなった場合、統計的に明確な結論を出すのは難しいと思われる。

<客観的指標関係>

■委員からの主な意見等は次のとおり

(意見)

前回指摘した部分ではあるものの、NPO 法人の認証数を単純に無くしてしまって本当に良いのか疑問がある。一方で、一般社団・一般財団法人の設立数で代替できるのかというと、法人設立の目的がそもそも違うことから難しい。迷う部分ではある。

(意見)

65歳以上の独居世帯数という指標があり、これはもちろん必要なのだが、一人暮らし世帯も増え続けていることから、それだけに限定せず、全体の独居世帯数を掲載しても良いのではないか。

(意見)

余暇のグループの中で、労働時間関係という指標があるが、仕事の方にも影響を与える、関わってくるものなのではないか。

(意見)

全体を見ると、収入の項目について客観指標が少ないと感じる。その中で、岩手は賃金単価が低いということが言える。そこで、新たに最低賃金の指標を入れるということも考えられる。

(意見)

最低賃金は低いかもしれないが、通勤時間はおそらく短いはず。それは働きやすさの重要な要素であるので、こちらも指標に入れた方が良い。

(意見)

どの指標をどの領域に入れるかということで議論もあるわけだが、関係するところに同じ指標が繰り返し出てきても問題ないのではないか。再掲というような形で入れ込んで良い。

(意見)

岩手は自営業率の高い県であり、自営業あるいは農林水産業に携わっている方々の収入状況を把握するために、何か良い指標はないだろうか。

(回答)

対応する。

(3) その他

特になし。

会議資料

資料1 第6回「岩手の幸福に関する指標」研究会資料

参考1 主観的幸福感等に関する県民意識調査の分析結果について

参考2 第5回研究会で示された主な御意見について

参考3 客観的指標の具体例

※会議資料及び会議録については、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0名

報道 3社

7 問い合わせ先

盛岡市内丸10番1号

岩手県政策地域部政策推進室評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-5254

8 ホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/44982/057233.html>

9 その他

本研究会について御意見がありましたら、上記問い合わせ先までFAX等でお寄せください。
今後の研究会での審議の参考とさせていただきます。